



愛知県議会議員

— 自民党 2 期 —

神谷 和利



1304

農地は、米や野菜などを生産する場としてだけではなく、国土の保全や水源の涵養、自然環境の保全や良好な景観の形成などの公益的な役割、いわゆる多面的機能を有しております。

昭和 36 年 1 月 2 日生まれ。豊田市柿本町 3-34。愛知県議会経済労働委員会委員。名古屋港管理組合議会企画総務委員会副委員長。自民党愛知県第 11 選挙区支部長代理。元豊田市議会議長。愛知県森林協会副会長。豊田市少林寺拳法協会会長。ボーイスカウト豊田地区副協議会長。

中山間地域支援制度の見直しを

の変化を受けて始まったのが、農村地域の共同活動を経済的に支援する「農業農村多面的機能支払事業」です。中山間地域の急峻な地形に拓かれた田畑は、広大な法面の草刈り作業を伴います。一旦大

雨が降ればその法面は崩れ、農道や水路は土砂に埋まり、補修には多くの労力が必要となります。また獣害対策には柵や罠の設置、見回り点検など、中山間地域の農業は、下流域に比べ多くの経費がかかります。これを受け、県においては、これまで農業や農村と関わりの薄かった地域外の企業、学校、非農業者等と中山間地域の活動組織を結び付ける取組を実施し、豊かな恩恵をもたらす多面的機能が継続的に発揮されるよう支援します。

先人たちは、水田周りの草刈りや水路の泥上げ、農道の補修といった地道な作業を集落総出で続けてきました。こうした共同活動は単なる労働ではなく、地域社会を支えるための「当たり前」の営みとしました。そうした情勢

を前提とし、自主的労力や善意のみに依存し続けたこの制度は、明らかに限界を迎えています。

国は、中山間地域などの小規模組織の体制強化に向け、多様な人材の参画を促進するという方針を示しました。これを受け、県に